



プロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグ plus の愛媛マダリンパイレーツに所属する高原和弘投手と四ツ谷良輔選手が城辺保育所とあいなん幼稚園を訪問し、園児たちと交流を深めました。(1/28)



柏小学校と内海公民館の共催による、毎年恒例のスキー教室がソルファオダスキーゲレンデ(内子町)で行われ、児童39人のほか、教職員や保護者など37人が参加してスキーを楽しみました。(1/31)



今春から小・中学校に進学する児童生徒を対象に、町内の各校で「一日体験入学」が行われました。(2/2～)

愛南町では小学校に111人、中学校に189人が進学します。



ガラスや貝殻などの海からの漂着物を利用して制作する美術作品「シーボーンアート」の作品展が、県立南宇和病院を会場に2月5日から始まりました。4日には、同病院の鶴岡高志院長や清水雅文町長が出席し、点灯式が行われました。(作品展は3月9日まで開催しています。)



3月26日の開幕を控え、「えひめいやしの南予博2016」のPR活動が関係市町で行われました。本町では「にゃんよ」と「なーしくん」が、道の駅みしょうMICで買物客などに対するイベントのお知らせに汗を流しました。(2/5)



一本松山村開発センターで「みつめてみよう人権コンサート」が行われました。コンサートの開催は今回が14回目で、町内外から参加した10団体が、「いのち」の大切さを感じながら合唱や演奏を披露しました。(2/13)



# あんなにうまい、こんなにも

写真 5 写真 6

## 2/4~10 学んで楽しい、食べておいしい

本町の主要農産物である愛南ゴールドをはじめとした柑橘に関心を持ってもらうことを目的に、農業支援センター主催の「柑橘学習会」が町内4か所の保育所と南宇和高校で開催されました。

学習会では「愛南ゴールド」や「甘平」など約30種類の品種が紹介された後、品種ごとの生育状況や収穫時期について分かりやすく説明され、参加した子どもたちは、いくつかのミカンを試食しながら楽しく学習していました。また、様々な品種に触れることもでき、味や重さなど、それぞれの柑橘の違いを肌で感じることができたようでした。

南宇和高校では、県南予地方局の矢野貴大技師から「ミカンの作り方」と題して、県内のミカンの生産状況や栽培管理方法についての説明もあり、生徒からは大変好評でした。

写真 4

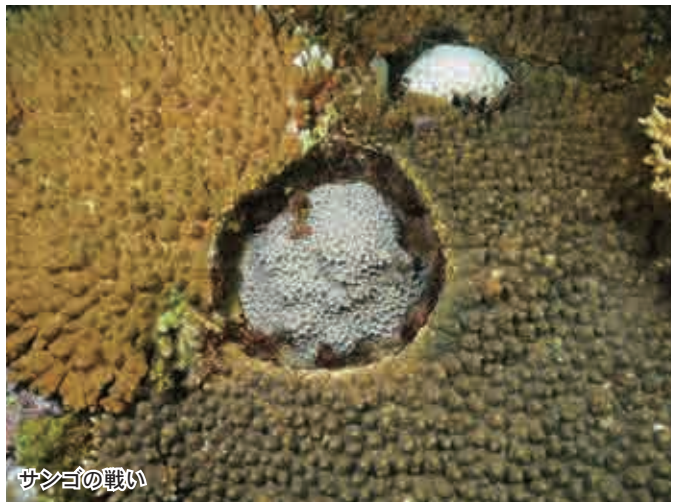
## 2/3 豆をまいて 鬼退治

春が来る季節の変わり目に豆をまいて邪気を追い払い、無病息災を願う風習「節分」。「魔を滅つする」という言葉から、豆をまくようになったとする説もあるそうです。

町内各保育所にも招かざる「鬼」が来て、園児たちは逃げ惑い、泣きながらも必死で「鬼は外、鬼は外」と連呼し豆をまきました。

# FLOWN PLYA

## 本日!海日和!! vol64 「難攻不落の真田丸」



サンゴの戦い

3月5日はサンゴの日なので、サンゴの話題を一つ。サンゴは動かないと思っている人も多いが、自分の領土を広げるために様々な方法で戦っている。

写真の中央に陣取っているのが、キクメイシというサンゴである。石のように見えるが、これでも立派な生き物である。周りのサンゴよりも成長が遅いため、日々、侵略の危機にさらされている。

成長は遅いが、その代わりに攻撃用のスーパー触手という長い毒針をもっている。夜になるとその触手を伸ばし、近寄るライバルを撃退している。周りのサンゴは、スーパー触手の届く範囲には侵入できないため、丸く取り囲むように成長して侵略の機会をうかがっている。

キクメイシは、まさに難攻不落の真田丸のようなサンゴである。動かないように見えるサンゴも、様々な知恵と方法で生き抜いているのである。

(撮影地:水谷)

愛南サンゴを守る会 西尾知照



写真  
1  
**機転利かせて  
人命救助**

散歩中に誤って海に転落した高齢女性を救助した本多積さんと本多ルミ子さん(ともに久良)に、1月27日、愛南警察署の徳永鉄則署長から感謝状が贈られました。

お二人は、1月12日の午後6時30分頃、暗い海から「助けて」という声が聞こえるのに気づき、凍えながら船のロープにしがみついていた女性を、人手を集めるなどして海から引き上げたそうです。お手柄のお二人は「人の命を救ってよかった」と声をそろえました。

写真  
2  
**22 おいしく  
健康づくり**

食を通して健康づくりを推進しようと、町食生活改善推進協議会(尾崎イトミ会長)主催による「あいなん食改味まつり」が、西海町民会館で開催されました。

味まつりでは毎年、「主食」、「主菜」、「副菜」や「汁物」、「デザート」に分類して、必要な栄養素がバランスよく摂れるように工夫された料理が数多く用意されます。来場者は、あいなん五目ごはんやあけぼの風チキン南蛮、かぼちゃクッキーなど彩りも鮮やかな料理を、会話を弾ませながら楽しく味わいました。

写真  
3  
**24 障害者更生援護  
で表彰**

南宇和郡手をつなぐ育成会(田村八千代会長、写真左)の上根千代野さん(広見、写真右)が、長年にわたり障がい者の更生援護に尽力したとして、愛媛県手をつなぐ育成会から会長表彰を受けました。

上根さんは、平成8年の育成会発足当初から同会の顧問となり、育成会役員への助言や会員育成などにも尽力し今日の南宇和郡手をつなぐ育成会の土台を築きました。